

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日市立白水小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】 第1学年生活科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

【1年生 生活科「あきのおもちゃをつくろう」】

目指す児童の姿

- ・様々な秋の自然物や身近にある物を比べたり試したりしながら材料を選択し、秋の自然物を使ったおもちゃをつくったりパワーアップさせたりすることができる。
- ・表計算ソフトを活用し、自分の思いをもっておもちゃをつくったりパワーアップさせたりすることができる。
- ・ポータルサイト「キラキラ宝箱」を活用し、おもちゃをつくったりパワーアップさせたりすることができる。

【自己選択・自己決定活動】

① つくるおもちゃの選択

どんぐりごま・マラカス・太鼓・
魚釣り・けん玉・やじろべえ

② 活動の選択

おもちゃをつくる・パワーアップ
させる・試し遊びをする・名人さん
に聞く

③ 学習形態の選択

一人で・友達と・名人さんと

④ 資料の選択

教科書・本・クロムブック

⑤ 材料の選択

反映

～表計算ソフトの活用～
 ・どのようなパワーアップをさせたいのか、自分で選択して取り組むことができた。
 ・1時間の見通しをもって取り組むことができた。



～ポータルサイトの活用～
 ・必要な情報を選択しながら自分で学習を進めていった。
 ・活動時間の確保につながった。
 ・友達の作品が見られるため、協働的な学びにつながった。

児童の変容

- ・「すること」を自分で選択し、1時間の見通しをもつことができるので、時間いっぱい自分でおもちゃをつくったり、パワーアップさせたりすることができた児童が多かった。
- ・当初は教師に質問をしながら活動を進める児童がほとんどだったが、学習を進めていくなかで、教師に質問せずに、端末上の情報を活用したり、友達と一緒に活動したりしながら学習を進めることができる児童が増えていった。